

## 第29回黒部川土砂管理協議会 議事録

### ●開催要件

○開催日時 平成23年2月18日（金） 14:00～16:00

○会場 黒部市於、「ホテルアクア黒部」

○出席者

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| ・堀内 康男 黒部市長        | ・堀 武司 富山県生活環境文化部次長        |
| ・米澤 政明 入善町長        | ・定村 剣次 富山県農林水産部次長         |
| ・脇 四計夫 朝日町長        | ・柴田 聡 富山県土木部次長            |
| ・阿久津 聡 富山森林管理署長    |                           |
| ・中島 宏 関西電力(株)北陸支社長 | ・田所 正 北陸地方整備局河川部長<br>(座長) |

事務局 国土交通省北陸地方整備局、関西電力(株)北陸支社

### ●発言要旨

- (1) 平成22年6月連携排砂、平成22年7月連携試験通砂及び平成22年8月短時間集中豪雨対策の実施経過について
- (2) 平成22年6月連携排砂、平成22年7月連携試験通砂及び平成22年8月短時間集中豪雨対策に伴う環境調査結果について
- (3) 第34回黒部川ダム排砂評価委員会開催結果について
- (4) 平成22年6月連携排砂、平成22年7月連携試験通砂及び平成22年8月短時間集中豪雨対策の実施結果に関する関係団体からの意見について
- (5) その他

【主な意見】

(1) 平成22年6月連携排砂、平成22年7月連携試験通砂及び平成22年8月短時間集中豪雨対策の実施経過について

〔質疑なし〕

(2) 平成22年6月連携排砂、平成22年7月連携試験通砂及び平成22年8月短時間集中豪雨対策に伴う環境調査結果について

(委員A)

魚類の調査結果など、先ほどから説明があったいろんな調査結果は、概ね大きな変化がなく実施できたという報告だったと思いますが、黒部川にとりまして、今年、大変喜ばしい話の一つあるのは、3月からサクラマスが解禁になるということです。私は専門家ではないので詳しいことはわかりませんが、サクラマスが棲む川というのは、非常に自然環境に恵まれた河川だという一つの象徴的な話も聞きます。

そういう中で、富山県では神通川、庄川、小川に続いて4河川目ということで、黒部川が3月から解禁になり、先日、報道では、その許可証の抽選会が行われたということです。一般で40名ほどの募集に対して、180名ほど全国から応募があったようで、内水面漁協の方が網と竿で40名ほど、一般では40名ほどで、100名に解禁するという話なんですけど、非常にうれしい話だなと思います。内水面漁協さんのいろんな努力ももちろんあるのですが、サクラマスが生息する川として、そのような漁業、遊漁が解禁になったということは、環境調査を確認する上で、一つの参考になるのかどうなのかというようなことについても、少し調査をしていただいたほうがいいのではないかと思います。

(座長)

(委員A)から今のようなお話がありました。何かお答えできるようなことがあれば、言っていただければと思います。

(事務局)

調査方法等は、まだ具体的に申し上げることはできませんけれども、今後とも黒部川の環境の保全については、もちろん留意していきたいと思っておりますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

(座 長)

今のご意見も踏まえて、できることがあれば取り組んでいただければと思います。

(3) 第34回黒部川ダム排砂評価委員会開催結果について

(委員B)

短時間集中豪雨対策ですが、今回、8月に1回実施されましたけれども、当然ですが、集中豪雨対策を実施する時期とか、また降雨の特性などの条件が異なってきますと、環境への影響の程度が異なってくると考えられます。

そういったこともありますので、来年度、短時間集中豪雨対策を実施する場合には、引き続き必要な環境調査を実施していただくとともに、今回の調査結果は1回の調査結果ですけれども、23年度からまた実施する調査を含め、複数回の調査結果全体に基づいて、その効果と環境への影響を把握していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(事務局)

今回、初めて短時間集中豪雨対策を行って結果を出させていただいたものでございまして、当然、来年度以降、必要な調査につきましては行っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(4) 平成22年6月連携排砂、平成22年7月連携試験通砂及び平成22年8月短時間集中豪雨対策の実施結果に関する関係団体からの意見について

〔質疑なし〕

(座 長)

それでは、本日のご意見や先月の排砂評価委員会の結果なども踏まえて、これから来年度の計画を作成し、次回の会議にお諮りするということになろうかと思いますが、よろしくお願いいたします。

(5) その他

(座 長)

議事の(5)に「その他」とありますが、何かありましたら、お願いします。

ちょっと私のほうから１点、先月の排砂評価委員会に出席させていただきまして、先般、テレビで報道されておりました富山湾のヨコエビの話がありましたが、それに関して委員から何かわかることがあったら教えてほしいという意見がありましたので、今の時点で何かわかることがありましたら、(事務局)から説明をいただきたいのですが、よろしいでしょうか。

(事務局)

それでは、(事務局)から報告させていただきます。

第三者機関であります富山県水産研究所と排砂実施機関が実施しました海域の底生動物調査結果によりますと、ヨコエビの発生状況は、富山湾全体と黒部川河口海域において差異はありませんでした。

調査地点ですが、黒部川河口海域を除く富山湾において８地点、黒部川河口海域において２８地点となっております。

平成１７年度から平成２１年度の春季、夏季、秋季の平均個体数をみますと、ヨコエビは春季に多く発生し、ヨコエビの発生状況は富山湾全体と黒部川河口海域において差異はありませんでした。

なお、富山県水産研究所と排砂実施機関で実施した調査は、採泥器を使って、海域の底生動物を土砂と一緒に採取する方法で実施しており、底生動物を定量的にモニタリングできる確立された方法です。また、ヨコエビのデータは富山県水産研究所の公表データと排砂実施機関の調査データを、排砂実施機関がヨコエビ亜目を抽出して整理したものとなっております。

以上です。

(座 長)

今の内容について、関係機関へ何か問い合わせをすれば、関西電力さんから情報をいただけますでしょうか。

(事務局)

はい。

(座 長)

では、適宜対応をよろしくお願いいたします。

以 上